

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 子どもの放課後居場所づくり事業 八石ココフレンド実行委員会（第2回）
開 催 日 時	平成30年11月28日（水） 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	八石小学校 ココフレンドスタッフルーム
出 席 者	大柳 幸江 和田 とき子 原田 卓治 野島 義永 松村 健太郎 神田 智子 丹野 厚子 金子 智子 山田 圭子 吉澤 直美 計10名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 藤田主任・武嶋
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 八石ココフレンドの運営状況について (2) ココフレンドアンケート実施及び結果について (3) 運営委員会の報告について 4 その他 5 閉会
会 議 資 料	・次第資料 ・八石ココフレンド 平成30年度イベント実施状況一覧 ・八石ココフレンドだより 第10号・第11号
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会 (司会：武嶋)

2 挨拶 (原田校長)

3 議事 (進行：大柳委員長)

(1) 八石ココフレンドの運営状況について (資料1～8頁) (説明：藤田主任)

- ・ 今年度は、以下の5点が昨年度からの変更点である。
 - ①学校代休日、県民の日などを休室
 - ②八石小学校、栄小学校で新規開設
 - ③東北、大和田ココフレンドに加え、東野、栗小、八石、栄ココフレンドの計6校で長期休業日の午後の開室
 - ④午後の見守り業務は6校ともシルバー人材センターに委託
 - ⑤6校で英会話、ダンス、科学実験の特別講座を委託で実施
- ・ 10月末現在の登録状況は、4割から6割の登録となっており、長期休業日の午後の開室をした6校の登録状況は、約6割である。
- ・ 八石ココフレンドの登録人数は186名で、登録率は57.9%となっている。開設当初と比べて25名増えている。
- ・ 放課後児童保育室の夏入室者数を前年度と比較すると、栄小学校が13名、八石小学校が14名、東野小学校が25名減少しており、いずれも夏休みの午後の開室をした学校であった。反対に増加したのは、新開小学校が12名、石神小学校が17名、第四小学校が19名で、いずれも夏休みの午後の開室をしていない学校であった。
- ・ 今年度新規開設した八石小学校と栄小学校では、5月31日(木)から開室し、開室から夏休み前までの参加人数は、八石ココフレンドが50名前後、栄ココフレンドが30名前後であった。八石ココフレンドにおける夏休み期間中の参加人数は、概ね30名前後であった。
- ・ ココフレンド全体での日々の参加人数は、30名～60名となっており、2学期は15名～50名となっている。これまでと同様、懇談会などの学校行事のある日やイベント実施日に参加者が多く、100名を超えたココフレンドもある。
- ・ 日没が早い10月20日から翌年1月末日までは、ココフレンドは冬時間となり、お迎えのない児童は午後4時30分下校となっているが、2学期になっても参加児童が多いココフレンドでは、保護者のお迎えも多いという特徴が見られる。
- ・ 夏休みの午後の開室をした6校について、午前のみ、午後のみ、1日参加の3種類の参加人数を比べると、どのココフレンドにおいても1日参加の児童が一番多くなっている。今年度から午後の開室をした東野ココフレンドと栗小ココフレンドでは、昨年度と比較して1日当たり20名程度参加人数が増加した。
- ・ 今年の夏は気候や天候の影響を受けることが度々あった。8月8日(水)の午後と9日(木)、9月4日(火)は台風直撃の予報によりココフレンドは休室とした。また、体育館や校庭の利用を制限する日が多くあった。国から熱中症に対する注意喚起の文書も出され、ココフレンドでもいつも以上に子どもたちの体調管理に気を配っていただいた。

- ・ 英語、ダンス、科学実験の委託3講座のほか、夏休みのイベントとして、スポーツ推進委員によるラケットテニス、レクリエーション協会によるグラウンドゴルフとペタンク、ジュニアリーダーによるかるたレク、民間企業によるプログラミング教室、十文字学園女子大学の学生による理科実験教室などを無償で御協力頂いた。また、各ココフレンドにおいても独自のイベントを多数企画していただいた。

〈コーディネーターからの報告〉

- ・ 保護者の仕事の都合や、仲の良い友達がいるから等の理由で夏休み前の駆け込み登録や年度途中での登録が増えたようだ。
- ・ 開室当初は50名前後の参加があったが、現在は30名程度で落ち着いている。毎日のように参加する児童がいる反面、興味のあるイベントの時だけ参加する児童もいる。イベントがある日には参加者が60名を超えることもあるので、いつもよりスタッフを多く配置したり、学校に御協力頂き教室をお借りして対応している。
- ・ 1学期中は、来室した児童全員参加で工作等のイベントを行っていたが、夏休み以降は、工作は希望する子どもたちを対象に学年毎に1か月に3回、全員でできる遊びは1か月に1回行うことにした。七夕祭り、スノードーム作り、ハロウィンイベント、ミニ運動会が好評だった。
- ・ 夏休み開始時は、学校との調整が不十分でスムーズにいかない点はいくつかあった。来年度への反省としたい。
- ・ 今年の夏は猛暑のため、体育館も校庭も使用できない日が多かったので参加人数は多くなかったが、無事に過ごすことができた。
- ・ 現在、活動しているスタッフは22名で、夏休み中の午後はシルバー人材センターの方々に見守りをしていただいた。
- ・ 通常のココフレンドでは午後3時30分までを学習の時間としているが、学校での授業を頑張った後なので、宿題が終わった子は簡単な工作をするなど和気あいあいと過ごしている。また、宿題がわからなくて困っている子には、多少の手助けをすることもある。

(2) ココフレンドアンケート実施及び結果について

(資料9～27頁に沿って説明した。(説明：藤田主任) 主な説明は以下のとおりである。)

○ アンケートの実施概要

今年度は、長期休業日に1日開室した東野、東北、八石ココフレンドの保護者を対象にしたもの、午前のみ開室の石神、新堀、野寺ココフレンドの保護者を対象にしたもの、八石ココフレンドの児童を対象にしたものの3種類のアンケートを実施した。

○ 八石ココフレンドのアンケート結果

- ・ 配布数179に対し回答数149、回収率は83.2%であった。
- ・ 参加児童の約70%は1年生から3年生であり、全体の約85%が月に1回以上の頻度で参加している。参加理由については「子どもが行きたいとき」、「保護者が参加する学校行事があるとき」、「家庭を留守にしているとき」が多かった。
- ・ ココフレンドに参加したことによる効果としては、学年を問わず多くの友達や、スタッフなど地域の方とのつながりが増えたということ等、ココフレンドに参加していて良かったと実感している様子が見え

る。

- ・ 参加頻度が低い理由は、「子どもの意思を尊重している」、「1人で留守番ができるようになった」、「念のために登録している」等が挙げられた。
- ・ 長期休業日の開室時間については、約90%の保護者が開室時間は適当であると回答しており、開室時間には満足していると思われる。
- ・ 今後のココフレンドに希望することとしては、「イベントを増やしてほしい」という意見が多く、具体的には今年度実施した「英語」「実験」「ダンス」「スポーツ」「プログラミング」に多くの意見が集まった。今年度実施したイベントの満足度の高さがうかがえる。また、イベントの実施頻度としては、週に1回から月に1回程度希望している。

○ 長期休業日に午前のみ開室のココフレンドと1日開室のココフレンドのアンケート結果の違い

長期休業日の開室時間について、午前開室のココフレンドでは約6割の保護者が短いと感じており、75%の保護者が午後も利用したいと考えている。適当と思う時間は、午前8時30分から9時開始で午後5時頃までという意見が多かった。1日開室のココフレンドでは、約9割の保護者が開室時間は適当であると回答している。

○ 八石ココフレンド児童アンケート

- ・ 配布数179に対し回答数147、回収率は82.1%であった。
- ・ 参加して楽しい主な理由は「友達と遊べる」、「おしゃべりができる」で、楽しくない理由は「友達に参加していない」、「勉強したくない」というものがあつた。
- ・ ココフレンドでしたいことは、「好きな遊びやイベントをたくさんしてほしい」という意見が多かった。
- ・ ココフレンドに参加するようになって変わったことについての設問では、「家の人と話しをすることについて」、「大人の知り合いについて」、「大人からほめられることについて」がほぼ同様の割合で「増えた」と回答していることから、ココフレンドでコーディネーターやスタッフという大人から褒められる機会が増え、そのことを家庭に帰って話をするという姿が想像できる。
- ・ 夏休みのイベントは、約95%が楽しかったという回答しており、特に「工作」が楽しかったという意見が多かった。

(3) 運営委員会の報告について（資料28～29頁）（説明：藤田主任）

- ・ 平成31年度は第4次新座市基本構想総合振興計画後期基本計画に基づき、実施校の拡大を図るものとして、西堀小学校と新座小学校の2校開設することで調整を進めている。
- ・ 西堀小学校は3階の「書写室」を、新座小学校は現在PTA会議室として使用している、2階の「第二会議室」を使わせていただく予定である。
- ・ 来年度の新規開設校については、ココフレンドの人材確保や国の進める放課後児童保育室との連携という観点から、平成31年度から放課後児童保育室6箇所指定管理者となる民間事業者に、ココフレンドの運営も委託する予定である。
- ・ 来年度の既存校については、長期休業日の午後の開設をする学校を増

やすことで準備を進めている。

4 その他

コーディネーター アンケートの回収率が高く、たくさんの保護者の御協力をいただいた。その中で、特に夏休み中の体育館での校帽の着用をやめてほしいとの意見を多数いただいた。放課後児童保育室の児童と見分けるために着用していたものだが、放課後児童保育室と同じ時間に体育館を使用することがないので、今後は体育館での帽子の着用はしないこととする。

委員 特に夏休み中に体育館の使用時間をずらしたわけではなく、今年の夏は体育館の室温が高かったためにほとんど使用しなかっただけである。通常は時間をずらして使用している。

コーディネーター 体育館の使用については、放課後児童保育室と再度、確認・調整させていただきたい。

コーディネーター ココフレンドスタッフルームの冷房が効き過ぎていた、との意見もいただいた。暑い中遊びから帰って来た子どもたちが、すぐに体を冷やせるように冷房温度を低めに設定していた。熱中症予防のためやむを得ないので、上着を持ってくるように言っていたが、来年度はココフレンドだよりもお知らせしたい。

コーディネーター 八石ココフレンドはイベントの開催が多く、アンケートからも満足度が高いことがわかる。

委員 保険料のみで参加できるココフレンドで、イベントの開催が多いことは負担にはならないのか。イベントが多過ぎるのではないか。

コーディネーター イベントはもっと増やしてほしいという意見が多い。スタッフの負担はあるが、廃材や不要品を使用することが多いので、費用面での負担はほとんどない。放課後の居場所として子どもたちが楽しめるように、無理のない範囲でイベントを開催している。

コーディネーター 子どもたちから、昔遊びをしたいという要望がある。地域の皆さんに御協力頂けるとありがたい。

委員 学校、放課後児童保育室、ココフレンドで、学校のルールについて確認する機会を設けられると良い。知らずに学校のルールに反していることがあるのかもしれない。

委員 疑問点を挙げていただければ、それについて回答したいと思う。また、学校内のルールは、ココフレンドや放課後児童保育室でも同じであるということを、子どもたちに改めて指導したい。

5 閉会

挨拶（大柳委員長）

閉会（武嶋）